

下松工業会報

一般社団法人 下松工業会
〒744-0012 下松市北斗町12番4号
事務局 下松工業同窓会館
TEL (0833) 43-1336
FAX (0833) 41-7448
URL: <http://www.kudakokai.org>
E-mail: kogyokai@triton.ocn.ne.jp



ご挨拶

会長 内山 和美
(E49)

一般社団法人下松工業会の会員の皆様におかれましては、平素より同窓会活動に対してご理解、ご協力を頂き、感謝申し上げます。今年で会長2年目になります昭和49年電気科卒の内山和美です。よろしくお願い致します。

〈主な活動内容〉

一般社団法人下松工業会の活動目標の一つ目は会員相互の交流を図ることです。総会をはじめ、企業支部や地域支部活動、OGによるさくらクラブ、ボウリング大会、ゴルフ大会などで親睦を深めて頂いています。

二つ目は母校への支援です。生徒への奨学金や文化体育活動支援助成金の交付、母校の庭木の剪定、就職試験直前に実施する面談指導、下工祭では昨年から始めましたさくらクラブによるお茶席などがあります。

また、各種行事や企業・地域支部活動を掲載した会報も発行しています。

〈定時総会、講演会、懇親会〉

5月13日(土)、きらばし館にて定時総会を開催しました。

国井市長、大田校長をはじめ多くの来賓を含めた総勢78名の参加の元、総会終了後に昭和41年電気科卒の田中一成先生の記念講演会が催されました。懇親会の終盤では多くの方からの近況報告等があり、大いに盛り上がり和やかな会となりました。

〈一般社団法人への移行の経緯〉

現在の一般社団法人下松工業会の前身は昭和2年に下松在住の卒業生が中心となり「同窓会下松工業会」を設立し、昭和25年に名称を「下松工業会」へ改称しました。

昭和42年の定時総会で下松工業会館を建設することを決定し、昭和46年に完成しました。その間、

昭和43年の臨時総会で同会館にて賃貸による収益事業を開始することで「下松工業会」の法人化を決定し、昭和44年に「社団法人下松工業会」の認可が承認されました。

平成20年には、新しい公益法人制度として「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」が施行されました。全ての公益法人が公益目的事業を主な事業とすることになり、寄附優遇税制の対象となりました。これを受け、平成24年に「社団法人下松工業会」は「一般社団法人下松工業会」に移行して現在に至っています。

こうしたなか、下松工業会館の1階に継続していたテナントが平成28年に撤退し、建屋の老朽化や耐震強度の問題などがあり新たなテナントの入居が難しい状況となりました。令和2年には下松工業会館の売却を総会で提案し承認されました。売却後は3階の会議室を賃貸契約して事務局運営を継続しています。

〈今後の見通しと検討内容〉

前述したように、収益事業を開始することに伴い法人化した下松工業会は、収益事業が無いにも関わらず一般社団法人を維持していくと、一般社団法人であるが故の経費(法人税や会計監査費など)の垂れ流しとなり、会員数の減少に伴う会費収入減と相まって、あと4年で財政破綻となる見通しです。

この状況を打開すべく、理事会ならびに組織委員会でも議論した結果、一般社団法人としての下松工業会を解散し、新たに任意団体として下松工業高校同窓会(仮称)を設立して、事業承継していくとともに、収入に見合った事業への見直しなど、母校とも連携しながら早急に検討を重ねていくことにしました。

〈おわりに〉

冒頭でも説明しましたが、私どもの使命は、「同窓会会員相互の交流を深める活動」と共に、「母校における生徒の資質向上及び教育の振興に向けた支援をすること」で下松工業高校の充実発展に寄与する活動」を継続することです。今後も下松工業会会員の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



ご挨拶

山口県立下松工業高等学校
校長 大田 真一

―大義と現実の狭間―

爽やかな初夏を迎え、木々の緑も日増しに深まっています。このたび下松工業会会報第54号が発刊されることを心からお祝い申し上げます。

一般社団法人下松工業会の皆様には、平素から本校教育の振興に物心両面でご支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。昨年度も、会長の内山和美様をはじめとする下松工業会の皆様には奨学金の交付や全国大会出場部への激励金、就職面接指導や学校運営協議会への協力、地元有志による庭木剪定など、多方面から母校を支えていただきました。本当にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

今年148名の卒業生が新たに皆様と同じ同窓生となりました。卒業生は約80%が就職し、約20%が進学しました。全員が希望する進路に進めたことは、本校が長年培ってきた歴史と伝統の賜物であり、日本の産業界に貢献してきた多くの先輩方のおかげだと感謝しております。卒業生が社会で活躍することを願うとともに、在校生に対して充実した指導を行ってまいります。

話題は変わりますが、「新型コロナウイルス感染症」が流行する前のことです。正月に妻の実家の北浦を訪れ、家族で三社参りを行いました。その内の一つ、湯谷にある「元乃隅稲成神社」を参った帰り、「龍宮の潮吹き」という看板が目に入ったので「日本の棚田百選」という看板が目に入ったので訪れてみました。季節柄、棚田には稲はおろか水も張っていない状態でしたが、日本海と山陰の山々々が棚田と調和し、どこか懐かしく落ち着いた気持ちにさせられた風景でした。



《元乃隅稲荷神社》



《日本海と棚田》

一方、ようやく全国各地で復活された夏祭り・秋祭り等のお祭りの多くは、田の神に向けての豊作祈願または収穫感謝のために行われてきたと考えられています。また、先日、市内の花岡八幡宮を訪ねた時、境内奥の広いスペースに土俵があるのを見つけていました。コロナ感染症感染拡大防止のため中断していた子ども相撲大会(明治以来100年以上続く伝統行事)が今年から復活したそうです。日本人に愛される相撲の所作である「四股(しこ)」には元々、大地を力強く踏みしめ

ることで土地から災いを追い払い、豊作を祈願するという意味合いがあるそうです。日本人にとって稲作は特別なもので、古来より伝承されている儀式・祭り・芸能の歴史や由来を紐ほどいてみると、稲作と深い関わりがあるのがわかります。日本はやはり稲作文化国なのだということをつくづく感じさせられます。

私は農家に生まれ、物心がついた時には、田植えや除草、稲刈り、脱穀の手伝いをさせられてきました。

農家は稲がまだ苗の時、水田に十分な水を溜めてやり、肥料も十分に与えます。茎や葉を伸ばし自立できるようにするまでは保護する必要があるからです。しかし、ある時期になると、水田から水が消え、田んぼの土は硬くヒビ割れる時が来ます。農家が意図的に水を枯渇させ、稲の生育にとって厳しい環境をつくるためです。稲は巡らした水を求め、見えない地中で模索し、根を張り巡らし、農家は水の枯渇で来るべき実りの時期に倒れ、折れたりしない丈夫な土台作りに繋がるのを経験的に学んでいるのです。これが、水を与え続けると、稲は根を張る必要がないため、自らの重さにも耐えることができなくなり弱く倒れやすいものになってしまうでしょう。

このことは、農業と教育、一見異なることに思えますが、普遍的に通ずる部分があるように感じます。欲しい物や、やりたいことを簡単に与えられ、苦労や辛い経験をしないまま大人になった者は、壁にぶつかると逃げたり挫折したりしてしまい、逆に、厳しい環境に耐え、壁を乗り越えてきた者は、問題を解決する能力が養われ豊かで実りある人生を送れることになるでしょう。子供が自立し社会に出て独り立ちしていくためには、「子供たちを育てて厳しき環境にさらす」。教育の現場にはそれが求められており、先生方は心を鬼にして子供の成長機会(厳しき環境)を与えておられるのだということを理解していただきたいと思います。

工業高校の生活は、決して楽しいことばかりではありません。むしろ社会に出るために必要な素養を早く身に付けなければならぬ分、同年代の子供より多くの困難や苦労を経験するはずですが、それは全て自分を成長させるための土台作りの機会、長い人生で自分をより高い場所へ導くために裾野を大きく広げる機会だと捉えて欲しいと思います。

本校は今年、定員160名に対して、入学者は131名と大きく定員割れを起こしてしまいました。勿論、少子化という背景はありますが、リサーチしてみると「下松工業高校は厳しいから」という理由が圧倒的でした。

大義と現実の狭間で、変えられるものを変える勇氣と、変えられないものを受け入れる冷静さをもつて対処しなければならぬと感じています。難しい舵取りが求められますが、下松工業高校発展のために全身全霊を傾けて職務に取り組んでまいります。

終わりに、一般社団法人下松工業会のますますのご発展と、皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和5年度定時総会報告書

【定時総会】

1. 開催の日時及び会場
令和5年5月13日(土) 10時40分～11時55分
会場 下松市駅南市民交流センター きらぼし館
2. 会員の現在数
1,863人
議決会員数 1,230人
うち出席者 65人
書面議決者 1,165人
3. 議 事
1号議案 令和4年度事業報告
2号議案 令和4年度決算報告並びに監査報告
3号議案 令和5年度事業計画(案)
4号議案 令和5年度予算(案)
4. 総会の経過
1) 議長は定款16条に従い出席全員の中から東洋銅鋳支部宮田健一氏(機械科 昭和63年卒)が選出された。
2) 議事録署名人並びに書記指名
宮田議長は定款21条により下記の者を指名した。
議事録署名人は定款21条に従い議長と出席理事の記名押印となります。
書 記 化学工業科 平成9年卒 椎木 隆裕 氏
3) 議事の経過の概要
1号議案と2号議案は関連するので一括して提案、東耕太郎監事から監査結果を報告し、異議無く原案通り満場一致をもって承認された。
3号議案を提案 満場一致をもって原案通り承認された。
4号議案を提案 満場一致をもって原案通り承認された。

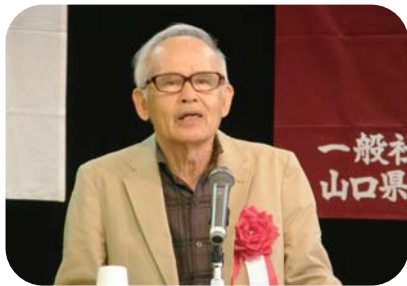
【記念講演】

講師の田中一成先生は、昭和41年に電気科を卒業後、金指造船所から清水市(現静岡市)議会議員に立候補され5期20年務められました。

現在は作家、ジャーナリストとしてご活躍されています。

「下工は虹の懸け橋(下工精神はわが人生そのもの)」と題しての講演は、人生のターニングポイントにおける行動や考え方の根幹となっているのは、下松工業在学中の体験や母校校是の「愛と正義」が大きく関わっていると感じました。

作家として初版となる坂本龍馬を題材にした「坂本龍馬と幕末維新」を出版するに当たっては、出版元による原稿の添削等によって自分の信念が修正されないようにと自費出版としたことや、夏の甲子園出場をかけた県予選には毎年静岡から車を運転(12時間)して、母校野球部の応援に駆けつけていること。去年はすべての試合に駆けつけ応援したとの話に田中先生の母校愛を感じました。懇親会にも積極的にご参加。旧交を温めながら感激の一時をお過ごし頂きました。



講師 田中一成 先生



記念講演

科 目	当年度	前年度	増 減
委託費	574,405	619,540	△45,135
雑費	4,600	2,510	2,090
経常費用計	5,896,022	17,057,187	△11,161,165
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,095,406	△5,755,222	3,659,816
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,095,406	△5,755,222	3,659,816
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,095,406	△5,755,222	3,659,816
一般正味財産期首残高	21,347,013	27,102,235	△5,755,222
一般正味財産期末残高	19,251,607	21,347,013	△2,095,406
Ⅱ指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ正味財産期末残高	19,251,607	21,347,013	△2,095,406

科 目	当年度	前年度	増 減
預り金	4,593	4,593	
流動負債合計	4,593	4,593	0
負債合計	4,593	4,593	0
Ⅲ正味財産の部			
一般正味財産	19,251,607	21,347,013	△2,095,406
正味財産合計	19,251,607	21,347,013	△2,095,406
負債及び正味財産合計	19,256,200	21,351,606	△2,095,406

正味財産増減計算書			
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで			
(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
受取入会金	740,000	785,000	△45,000
受取入会金	740,000	785,000	△45,000
受取会費	1,590,000	1,788,000	△198,000
正会員受取会費	1,002,000	1,269,000	△267,000
特別会員受取会費	588,000	519,000	69,000
事業収益	1,367,396	1,417,808	△50,412
交流会会費	426,828	382,500	44,328
会館使用料収益	99,750	146,300	△46,550
その他の収益	840,818	889,008	△48,190
受取寄付金	103,040	7,303,070	△7,200,030
受取寄付金	103,040	7,303,070	△7,200,030
雑収益	180	8,087	△7,907
受取利息	180	8,084	△7,907
経常収益計	3,800,616	11,301,965	△7,501,379
経常費用			
事業費	2,727,372	13,971,181	△11,243,809
給料手当	397,421	445,845	△48,424
旅費交通費		80,000	△80,000
通信運搬費	441,840	1,546,547	△1,104,707
消耗品費	127,756	286,221	△158,465
交際費	421,786	363,057	58,729
光熱水料費	110,844	120,012	△9,168
賃借料		192,160	△192,160
租税公課	71,023	72,232	△1,209
寄附金	143,000	8,688,531	△8,545,531
記念品費		482,892	△482,892
文化体育活動事業助成金	150,000	100,000	50,000
育英奨学金	480,000	540,000	△60,000
委託金	382,932	1,052,694	△669,762
雑費	770	990	△220
管理費	3,168,650	3,086,000	82,644
給料手当	419,887	388,257	31,630
福利厚生費	41,484		41,484
通信運搬費	651,662	611,709	39,953
減価償却費	175,549	390,030	△214,481
交際費	202,899	12,700	190,199
消耗品費	141,638	131,069	10,569
新聞図書費	27,810	23,706	4,104
光熱水料費	166,275	146,683	19,592
賃借料	677,840	678,690	△850
保険料	2,000		2,000
記念品費	71,000	69,750	1,250
租税公課	11,601	11,362	239

1号議案 令和4年度事業報告

1. 定時総会開催(5月14日、51名、下松市駅南市民交流センターきらぼし館)
2. 組織の充実と強化
・総会及び懇親会が開催された周南支部、熊毛支部並びに下松支部へ本部役員が参加した。
・地域・企業代表者懇談会役員と本部役員の交流会を開催(12月18日 参加者27名)
・新着任教諭の歓迎会はコロナ禍のため中止した。
・さくらクラブ(女子会)の開催(11月22日 参加者11名)
3. 広報活動
・会報53号発行(7月、会員向けに9,347通)
・ホームページのタイムリーな更新に努めた。
4. 文化、レクリエーション行事の開催
・講演会(5月14日、下松市駅南市民交流センターきらぼし館)
演題 下工精神!「創意工夫の継続」への取り組み
重永 裕祥 先生(E49) 51名
・親睦ボウリング大会(15名 8月3日)
・親睦ゴルフ大会(64名、10月12日)
・さくらクラブによる下工祭でのお茶席開催(11月11日)
5. 母校生徒支援事業の推進
・育英奨学金の交付(8名、48万円)
・文化体育活動支援事業助成金の交付(19万円)
・母校庭木剪定作業(11月20日 参加者12名)
・母校就職面接練習支援(面接官同窓生参加)(9月12～13日)
6. 地域行事への参加
北斗町内一斉清掃作業への参加(5月22日)

2号議案 令和4年度決算報告並びに監査報告

貸借対照表
令和5年3月31日現在

(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I資産の部			
流動資産			
現金預金	19,044,319	20,964,176	△1,919,857
西京普通	826,271	2,064,773	△1,238,502
西京普通特別会計	1,453,843	2,126,794	△672,951
西京普通100周年	1,264,205	1,272,609	△8,404
定期預金	15,500,000	15,500,000	
流動資産合計	19,044,319	20,964,176	△1,919,857
固定資産			
その他固定資産			
什器備品	211,881	353,135	△141,254
一括償却資産		34,295	△34,295
その他固定資産合計	211,881	387,430	△175,549
固定資産合計	211,881	387,430	△175,549
資産合計	19,256,200	21,351,606	△2,095,406
Ⅱ負債の部			
流動負債			

監査報告書	
令和5年4月11日	
一般社団法人 下松工業会 会長 内山和美 様	
監事 清水和夫	
監事 徳原英昭	
監事 東耕太郎	
私たち監事は、法令及び定款の定めに基づき、一般社団法人下松工業会(以下、下松工業会という)の令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)監査を実施したので、次のとおり報告します。	
1. 監査の方法及びその内容	
私たち監事は、理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し理事等からその職務の執行状況について報告を受け、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。	
以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及び財産の状況を調査しました。	
また、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその付属明細書について監査しました。	
さらに、公益目的支出計画実施報告を受領し、これに関する資料の調査を行い当該年度における公益目的支出計画について監査しました。	
2. 監査の結果	
(1)事業報告等の監査結果	
①事業報告及びその付属明細は、法令及び定款に従い、下松工業会の状況を正しく示しているものと認めます。	
②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。	
(2)計算書類及びその付属明細書の監査結果	
計算書類及びその付属明細書は下松工業会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。	
(3)公益目的支出計画実施報告書の監査結果	
公益目的支出計画実施報告書は法令及び定款に従い、下松工業会の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。	
以上	

科 目	当年度	前年度	増 減
通信運搬費	300,000	300,000	0
光熱水料費	110,000	110,000	0
消耗品費	150,000	150,000	0
租税公課	71,000	71,000	0
文化体育活動事業助成金	250,000	250,000	0
育英奨学金	540,000	540,000	0
委託料	350,000	400,000	△50,000
行事費	450,000	550,000	△100,000
100周年記念事業	0	0	
管理費支出	3,785,750	3,884,650	△98,900
給料手当	500,000	510,000	△10,000
交際費	500,000	550,000	△50,000
保険料	5,750	4,750	1,000
旅費交通費	150,000	150,000	0
通信運搬費	800,000	770,000	30,000
光熱水料費	181,000	170,000	11,000
消耗品費	200,000	200,000	0
賃借費	675,000	660,000	15,000
記念品料	70,000	70,000	0
委託料	550,000	600,000	△50,000
租税公課	29,000	47,500	△18,500
会費	100,000	150,000	△50,000
雑費	25,000	2,400	22,600
事業活動支出計	6,406,750	6,655,650	△248,900
事業活動収支差額	△3,206,650	△3,104,650	△102,000
Ⅱ投資活動収支の部	0	0	0
Ⅲ財務活動収支の部	0	0	0
Ⅳ予備費支出	0	0	0
当期収支差額	△3,206,650	△3,104,650	△102,000
前期繰越収支差額	19,044,319	20,964,176	
次期繰越収支差額	15,837,669	17,859,536	

- ・奉仕による支援（庭木剪定 11月）
- ・卒業生による講演会の実施
- ・3年生への面接指導の実施
- 6 運営方針
 - ・一般社団法人下松工業会から下松工業同窓会(仮称)への移行準備
 - ・有効な事業仕訳けと運営方法検討
 - ・司法書士への外部委託検討
- 7 藤中秀幸税理士事務所との会計処理業務の定着
- 8 地域行事等への参加
 - ・北斗町行事参加（5月）

4号議案 令和5年度予算（案）

収支予算書			
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで			
(単位：円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動収支の部			
(1)事業活動収入			
事業収益	850,000	1,050,000	△200,000
交流会会費	450,000	550,000	△100,000
その他の収益	400,000	500,000	△100,000
会費収入	1,600,000	1,700,000	△100,000
受取年会費	1,000,000	1,200,000	△200,000
受取特別会費	600,000	500,000	100,000
入会金収入	750,000	800,000	△50,000
受取入会金	750,000	800,000	△50,000
雑収益	100	1,000	△900
受取利息	100	1,000	△900
雑収益	0	0	0
経常収益計	3,200,100	3,551,000	△350,900
(2)事業活動支出			
事業費支出	2,621,000	2,771,000	△150,000
給料手当	400,000	400,000	0

3号議案 令和5年度事業計画（案）

- 新型コロナウイルス感染症の対策を講じた上で積極的に各事業を実施する方向で検討する
- 1 定時総会の開催（5月13日(土) きらぼし館）
 - 2 組織の充実と強化
 - ①地域・企業懇談会(旧支部)の充実を図る。
 - ・活動停滞懇談会への支援
 - ・懇談会間の交流の促進を図る。
 - ・懇談会代表者会議と交流会を実施する。(12月)
 - ・母校新任職員と懇談会との交流会
 - ②さくらクラブ(女子会)を育成し、より充実を図る。(下工祭でのお茶席継続)
 - ③学年幹事会の開催(学年幹事の有効活用検討)
 - ④在校生への意識付け
 - ・在校生への会報の配布(1回/年)
 - ・体育大会、文化祭へ参加する。
 - ・先生方や、PTAとの交流を図る。
 - 3 広報活動の推進
 - ・会報54号の発行(年1回の発行)
 - ・ホームページの充実とタイムリーな更新
 - 4 文化、レクリエーション活動の推進
 - ・講演会の実施(5月13日 きらぼし館)
演題 「下工は虹の懸け橋」
田中一成 先生(E41)
 - ・七彩会ゴルフ大会(10/11(水) 中須ゴルフ倶楽部)
 - ・親睦ボウリング大会(8月くだまつスポーツセンター)
母校の先生、PTA含む
 - 5 母校生徒支援事業
 - ・育英奨学金事業(9名)
 - ・文化体育活動支援事業助成金の交付(随時)

定時総会・懇親会



OG を交えた母校吹奏楽部の演奏



定時総会受付のみなさん



会長挨拶



懇親会



懇親会

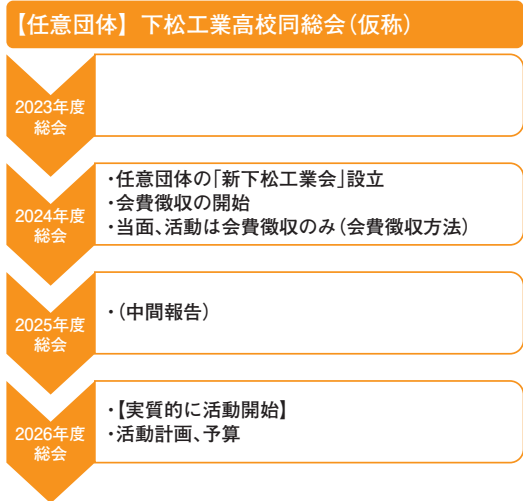
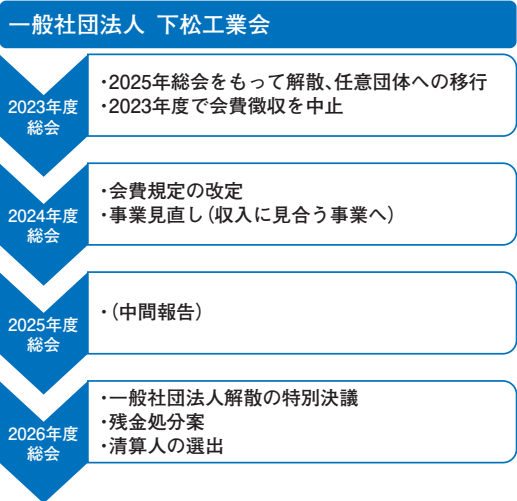


懇親会

トピックス

一般社団法人の返上と任意団体としての同窓会組織の立上げについて

具体的な移行イメージ



※総会後(解散日後)2週間以内に、清算人が法務局へ解散及び清算人選任の登記申請
↓
(概ね3か月)
※清算終了の登記申請

制度が複雑でわかりにくい面もあることから、本総会以降、会員への説明と問題点・疑問点の集約に努め、円滑に移行していけるよう万全を期していく。

【補足説明】

- ・自主的に一般社団法人を解散させたい場合は「社員総会の特別決議」により、解散することになる。(社員総会の特別決議とは？一般社団法人の重要事項を決定する「社員総会」は、構成員である社員が一同に集まって決議を行う。特別決議は、「総社員数の半数以上(頭数)」であって、「総社員の議決権の3分の2以上の賛成」が必要)
- ・一般社団法人の解散・清算手続きの流れは次の通り。
STEP 1 社員総会の決議(解散・清算人の選任)
STEP 2 主たる事務所を管轄する法務局へ解散及び清算人選任の登記
STEP 3 財産目録・貸借対照表の作成
STEP 4 債権者保護手続き(2ヶ月以上の期間)
STEP 5 税務署等へ解散の届出・解散確定申告
STEP 6 清算手続き終了(残余財産の確定)
STEP 7 社員総会の決議(決算報告書の承認)
STEP 8 主たる事務所を管轄する法務局へ清算結了の登記
STEP 9 税務署等へ清算結了の届出・清算確定申告

※STEP 4 債権者保護手続きの期間は2ヶ月以上を要するので、STEP 8 清算結了の登記までの一連の手続きには、最低でも2ヶ月半以上かかるということになる。

新任幹事紹介プロフィール



中原道雄 幹事 M43

機械科43卒中原道雄と申します。新幹事を仰せつかりました。東京勤務の傍ら某同窓会の事務局業務を長く続けておりました。印刷関連の営業・制作経験を生かし、少しでもお役に立てればと考えております。皆様にはご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

育英奨学金の御礼

拝啓 早春の候 貴会におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。さて、三年間、下松工業会育英奨学金の御支援をいただき、誠にありがとうございました。御下賜いただきました奨学金は、学業や通学の費用に充てさせていただきました。おかげさまで、三年間、勉学や部活動に十分励むことができ、有意義な学校生活を送らせていただきました。卒業後は一人前の社会人として世の中に貢献することが、このご恩に報いることと肝に銘じて、日々努力を重ねてまいります。末筆ながら、貴会の益々のご発展をお祈り申し上げますとともに、略儀ながら書中にてお礼申し上げます。敬具

令和五年三月一日

A・K

社会人になって思うこと



令和5年卒業生

情報電子科 佐藤 真夢

今年の4月から入社し、2ヶ月が過ぎました。少しずつですが社会人としての生活や仕事に慣れてきました。この2ヶ月は長いようで短い期間であり、最初は新しい環境で上手くやっていけるのかと不安がたくさんありました。

2ヶ月という短い期間ですが、研修や仕事をする中で色々感じたことや気づいたことがあります。その中でも3つのことが特に大切だと思います。

一つ目は挨拶です。挨拶は人と人とのコミュニケーションの第一歩であり、明るく笑顔で挨拶をすることで相手に良い印象を与えることができます。挨拶を当たり前にすることはとても重要なことだと改めて実感しました。

二つ目は、「報告・連絡・相談」です。「報連相」は仕事をする上で常に意識してやる必要があります。仕事の結果や万が一トラブルが起きた際には上司に速やかに報告することが大切です。他にもミスや分からないことがあった場合でも連絡や相談をすることで早めに対処ができます。「報連相」をすることでチーム内での情報共有ができて、仕事の効率化に繋がります。

三つ目はメモを取ることです。最初は分からないことばかりなので先輩や上司から教えて頂いたことをメモすることが大切です。ですがメモしただけでは覚える前に忘れてしまいます。振り返り確認することで記憶に定着させていくことが大切であります。

これからの仕事をする上で学んでいくことはたくさんあると思います。まずは色々なことに挑戦をし、出来る仕事を一つでも増やしていけるよう努力していきます。

電子機械科 森本 恭介

私が社会人になってから思うことは、「意識」と「実行力」の大切さです。

まず始めに「意識」についてです。約半月の研修期間、私は最初、学生気分のまま臨んでいました。学生の時は物事を何となくでもこなせることが多く、緊張感や責任感といったものが欠けていたように思います。その延長で研修期間を過ごしていましたが、実際簡単にはいきませんでした。学生時代は学ぶも学ばないも自己責任ですが、お金を頂く立場になり、自分の行動に責任が出てきます。今まで以上に自分の頭で考え、チームで協

力することが必要になってきます。高校生までの常識は通用しないので、社会人としての常識を身につけ、状況に応じた「意識」をし、対応することが大切だと感じました。

次に「実行力」です。行動力が必要ですが、ただそれだけでは足りず、目標に対する行動に計画性をもって実行することの大切さを知りました。工場で働く人は安全第一です。始める前に危険予知をした上で行動することがとても重要です。やるべきことを事前に確認し、それに向けて行動することが大切だと感じました。この気づきを今後意識し実行していきたいと思っています。

化学工業科 西村 星輝

私は、去年「学生と社会人の違い」ということを面接練習のときに考えました。

私は入社式から一カ月経ち、改めて自分が学生時代と比べて何が違うのかを感じるようになりました。

まず一番大きな違いは、学生はお金を払って授業を受けている。対して社会人は給料をもらって仕事をしているという点です。例えば、寝坊して授業をサボっても、それは自分の周りからの評価が下がって損をするだけです。社会人が仕事をサボってしまうと、一緒に働いている人に迷惑が生じるだけでなく職場全体に迷惑をかけてしまうこともあります。

しかし、一概に社会人生活が大変で楽しくないということではありません。社会人は学生と比べて、自由な時間は減りましたが代わりに自由なお金が増えます。つまり、時間の管理を上手にすることで学生の頃よりも充実した生活を送ることができる。

学生の頃は、比較的年齢が近い人達としか関わることが無かったですが、職場に入り三十歳以上、年の離れた方とコミュニケーションを図るようになりました。まだ慣れない環境で苦勞することが多いですが、一つひとつ信頼を積み上げていきたいと思っています。

システム機械科 高井 潤

社会人になって思う事は、学びは形を変えて続くのだなと思ったことです。学生の頃の学びとは違い、会社の一員として認められるように仕事を早く覚え、自覚を持って学ばなければいけません。私は製薬会社に就職し、研修期間に沢山の事を学びました。グローバルな会社のため商品やビジネス用語、略語など英語の表記が並び戸惑いました。それでも待つてくれる訳もなく当然のように話が進んでいきます。グループディスカッションでは

お題に対し自分はどう考えているか発表する場もありました。グループの中で、まだ話がまとまっていな中、じゃんけんして負けて発表をする時は、口から心臓が飛び出しそうなくらい緊張したのをよく覚えています。今では良い思い出です。

研修を終え、職場では何百枚にもなる作業指示書であつたり、薬を作る機械の内部まで知るなど、本当に覚える事が多いです。自分で調べて知る事と、それでも分からない時は思い切って周りの人に聞く事「分からないままにしない事」が大切です。質問することはメリットしかなく、相手とはコミュニケーションがとれたり、相互の理解に繋がります。在校生の皆さんも授業で分からないことがあれば、思い切って先生に質問してみてもうでしょうか？（笑）

私は上司の方から「知らない事」が武器だ」という言葉をもらいました。薬の事など何一つ分かっていない私に「新人だからこそ思う会社の改善点やフレッシュな回答はこれから会社により良くなる上で必要なんだよ。」と言われて、この言葉は私にとってとても励みになっています。今、私がやっている事は何もかもが新しく、はじめの一步にすぎませんが「できない」ことを「できる」に変えて日々成長していきたいと思っています。

情報電子科 岩本 翔英

今年の四月に入社してから約二ヶ月が経ちました。初めのころは、早く慣れなければならぬと焦る気持ちもありいつも緊張していましたが、丁寧な指導や何気ない会話のおかげで職場の雰囲気、社会人としての生活に慣れてきました。研修中の今は仕事をするというよりも教わることで、学ぶことばかりで毎日が勉強の連続です。

この短い期間で自分が社会人になって感じたことは、「一日の早さ」「報告、連絡、相談の大切さ」「コミュニケーション能力」「小さなことでもメモを取る必要性」でした。その中でも、コミュニケーションをとるのに苦勞しました。自分から話しかけることで交友を深めることができました。

また、上司の方と話す際、正しい敬語を使うこと、挨拶やお礼を言うことは大切だと学びました。下松工業で学んだことは社会人になってから、非常に役に立つと思いました。

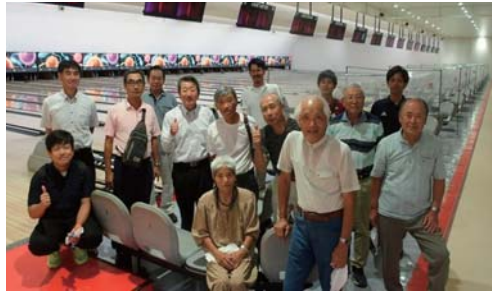
これから学ぶことはたくさんあり、また学んだことをしっかりと活かせるようにならなければなりません。毎日が自分自身の事で精一杯の日々ですが、成長を感じる毎日でもあります。これから人として社会人として日々成長して行けるよう一杯頑張りたいと思います。

活動状況報告

令和4年度の事業計画として組織の充実と強化・広報活動の推進・文化レクレーション活動の推進・母校生徒支援事業・地域行事等への参加を掲げ実施しました。これ等の活動状況について報告致します。

①七彩会ボウリング大会

令和4年8月3日「くだまつスポーツセンター」で開催されました。コロナ感染が拡大する中、なんとか15名の参加を得て開催することが出来ました。さくらクラブから紅一点、藤田圭子さんも参加いただきました。参加された皆さん、お疲れさまでした。来年もぜひ参加してください。



②第31回七彩会ゴルフ大会

令和4年10月12日「中須ゴルフ倶楽部」で開催。参加者64名



優勝 中川睦男 (C 40)
準優勝 長島祥司 (E 49)
3位 藤原誠司朗 (M 35)



③母校面接練習指導

令和4年9月12、13日の2日間、生徒の就職面接試験に向けての練習・指導に協力しました。面接官としてご協力頂き、有難うございました。

④母校校庭庭木剪定作業

今年も令和4年11月20日母校正門付近の庭木剪定作業を有志の方々によって実施しました。今回も中津井理事を中心に、あすなる工業の応援を戴きました。



⑤さくらクラブ(女子会)

(1)交流会

11月22日下松工業会館において開催されました。参加者11名とやや少人数でしたが約2時間おしゃべりに花が咲き、次回を約束して解散しました。

(2)お茶席

「さくらクラブ」による「お茶席」に参加して皆さん、「さくらクラブ」をご存じですか？下松工業OGの女子会です。



代表 福永知佐子

地域支部紹介・活動状況

①下松支部

(1)総会

令和4年7月17日ほしらんど下松で15名の出席のもと開催。令和4年度事業計画・予算について審議

(2)月見の会

令和4年9月16日「さくら亭」、21名参加

(3)花見の会

令和5年3月24日「きらぼし館」、20名参加

支部長 三牧義明



②周南支部

周南支部も今年で、設立18年になります。年間活動は、毎年9月に開催する、総会で会員が、顔を合わし交流を深めております。その総会でのアトラクションで、毎年、松茸が当たるジャンケン大会が、一大イベントとなるでしょう。

支部長 久野隆弘
支部会員 20名



には、毎回スタンドのママも出席して頂いております。今年も、若い会員を是非、新加入してもらえように、働きかけたいと思っております。

③熊毛支部

支部長 林通生

当支部は平成5年に、竹中元校長ほか有志の方が発起人になられ、熊毛支部が設立されました。設立総会は中央公民館で約60人の卒業生が集まり、盛大に開催されたと聞いております。



支部長は初代森永さん、2代目徳原さんと続き、その後私が引き受けております。熊毛地区には名簿上で約600名の会員がおられますが、総会への出席者は近年非常に少なく、近隣支部より応援参加をして頂いているような現状です。

現在支部存立をかけて、定年退職など地域支部を抜けられた方々に、「定年後は古里で活躍しましょう」をキャッチフレーズに、対象年代の方々に集中的に総会参加を働きかけております。

総会では初めての方でも参加しやすいように自己・近況紹介を行い、さらにはビンゴゲームなどで娯楽性を持たせております。

熊毛地区出身の下卒業生の皆さん、支部総会へご参加をお待ちしております。

④柳井支部

支部長 藤沢浩司

○支部会員数…約370名

○支部の特徴

例年2月の最終土曜日に支部総会を開始し、会員相互の親睦を深めています。総会後の懇親会では一人ひとりの持ち時間でそれぞれの近況報告を行っています。また、会員がスポンサーとなり豪華景品を提供してもらい、じゃんけん大会を開催しています。

○支部活動実績

新型コロナウイルスの影響で例年支部総会を開催していましたが、令和3年以降実施をしておらず、他の活動も行っていないです。

○今後の活動計画

新型コロナウイルスが終息すれば例年通り支部総会を開催し、柳井支部会員同士の親睦を図っていきたく。開催時期については例年2月の最終土曜日に開催していますが、気温の低い時期であり、開催時期の見直しも今後の課題ではないかと考えています。

母校だより

全日制から

一般社団法人下松工業会の皆様には、平素より、本校教育の発展に多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。

令和4年度末の人事異動により、14名の教職員が転退職し、新たに17名の者が転入いたしました。4月10日には131名の新入生を迎え、今年度も全校生徒、教職員一同新たな気持ちでスタートすることができました。

令和2年度の新型コロナウイルス感染症の爆発的感染拡大により、私たちの生活様式は大きく変わりました。この3年間、様々な活動に制限がなされ、多くの方々にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。しかし、今年度5月8日に感染症法上の位置付けが変更され、私たちはコロナ前の日常を取り戻しつつあります。学校においても、しっかりと感染症対策を講じた上で、技能の確実な習得、資格取得を含む学習指導、活気ある部活動や多様なボランティア活動、豊かな人間力の向上を目指した生徒指導、充実かつ安定した実績を継続する進路指導を推進し、地域に根ざし愛される学校として取り組んでまいります。

それでは、学校の昨年度の実績等について報告させていただきます。

まず、今春卒業した生徒の就職状況についてですが、求人数は740人、求人倍率は5.4倍（サード・ビジネスを含めると6.3倍）でした。コロナ禍ではありましたが、求人数は前年度を上回り、雇用情勢は好調でした。就職者数は全体の80.3%、そのうち86.8%の生徒が県内の企業に就職しました。このことは、諸先輩方のご活躍とご努力のお陰によるものと感謝いたしております。

進学を希望する生徒におきましては、28名の生徒が4年制大学や専門学校への進学を決めております。松本征大君は、国立大学（室蘭工業大学）へ進学しました。

進路指導の一環として、同窓生の方々に就職試験の面接を行っていただきました。模擬面接は、生徒にとって大変貴重な時間であり、応答練習のみでなく心構えなどの話は大変有意義な機会となりました。今年度も実施を計画しておりますので、是非お力を貸していただければ幸いです。

部活動においては、感染症対策を講じながら様々な大会が実施されました。運動部では、登山部が全国高校総合体育大会で8位、全国高校スポーツクラ

イミング選手権大会に出穂弦大君が出場しました。ハンドボール部は中国選手権大会3位に入賞しました。弓道部は中国新人大会男子団体3位、国民体育大会において平谷太良君が本国体に出場し、2位入賞を果たしました。また、ソフトテニス部も団体と個人で、剣道部も個人で中国大会に出場するなど、多くの生徒が上位大会で活躍しました。野球部は、全国高校野球選手権大会山口大会でベスト4に入りました。

文化部では、ものづくりコンテスト「旋盤職種」において渡辺慎也君が全国大会に出場し、敢闘賞を受賞しました。また、ものづくりコンテスト「溶接作業部門」でも3名が中国大会に出場し、田中秋鷹君が5位に入り、奨励賞を受賞しました。

学習面においては、チャレンジ目標として「ステップテスト平均点8割以上」を掲げています。技能検定・資格取得の向上に向けては朝、夕の補講を行うなど、指導の強化を図っています。生徒が積極的にチャレンジした結果、職業技術顕彰で36名、ジュニアマイスター顕彰でゴールド7名、シルバー20名、ブロンズ36名の生徒が認定されました。今年度も基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を目指すとともに一人一台端末等のICT機器を積極的に活用し、生徒の学習意欲向上と授業改善に努めて参ります。

昨年度、「多様性を認め合い、他者を尊重できる心豊かな生徒の育成」を目的とし、徳山総合支援学校と交流を図りました。残念ながらコロナの影響でリモートでの吹奏楽部の演奏会のみとなりましたが、今年度はお互いの文化祭に参加するなど、さらに交流を深めたいと考えています。

ところで、下松工業高校と言えば「久原房之助翁」。着任して3日目に、私は、大田真一校長からある動画を見せていただきました。本校の情報処理部が制作、編集した動画で、その中に久原翁の偉業、功績がまとめられており、「下松工業高校」と「ものづくりのまち下松」の繋がりの深さを知りました。

また、5月13日の定時総会の際、「下工は虹の架け橋」という演題で田中一成氏の講演がありました。「自らが気づき、判断し、行動する。これぞ下工精神」と話されておりました。この精神が諸先輩方の中で脈々と受け継がれ、本校の102年の歴史と伝統がつけられたことを強く感じました。

現在の下松工業高校が活気に満ち溢れた学校であるのは同窓生の方々のお陰です。このことに感謝し、これからも生徒とともに成長していきたいと思えます。今後ともこれまでと変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

全日制教頭 松本 宣昭

定時制から

定時制の記録

活躍・健闘光る!!



全国大会に出場した卓球部



柔道90kg以下級で第1位になった村田海夜さん



発表中の原田琉衣さん



ボランティア活動の様子

【定通体育大会の成績】

- 山口県定通体育大会 6月4日 於：維新大晃アリーナ・山口高校
 - ①軟式野球 クラーク記念国際高校参加辞退により第1位
 - ②卓球 男子団体 1位 男子個人 2名2回戦敗退 女子個人 1名3回戦敗退
 - ③柔道 90kg以下級 第1位 村田 海夜（4年）
- 全国大会西中国地区予選 6月19日 於：東広島運動公園野球場
 - ①軟式野球 第2位 本校 0-11 みらい創生高校（広島県）
- 全国高等学校定時制通信制体育大会
 - ①卓球 7月26日～28日 於：駒沢オリンピック公園総合運動場体育館 男子団体 1回戦敗退 本校 0-5 翔洋学園高校（茨城県）
 - ②柔道 8月7日 於：講道館 男子個人 新型コロナウイルス感染症の疑いにより棄権
- 山口県定通体育大会 10月15日 於：山口高校
 - ①軟式野球 第2位 本校 8-11 クラーク記念国際高校
 - ②卓球 男子団体 2位 男子個人 2名2回戦敗退 女子個人戦 1名3回戦敗退
 - ③柔道 90kg以下級 第1位 村田 海夜（4年）
 - ④学校対抗4×100mリレー 第4位 浅原 悠人（4年） 神城 新（4年） 畑岡 優輔（4年） 山中 俊（3年）

【資格取得】

- 技能検定機械加工普通旋盤作業2級 畑岡 優輔 ○危険物乙種第6類 畑岡 優輔
- 機械製図検定 浅原 悠人 畑岡 優輔 弘中 渉 ○玉掛け技能講習 浅原 悠人
- 基礎製図検定 井野 颯人 山中 俊 ○情報技術検定3級 山中 俊 武居 健晶
- 計算技術検定3級 井野 颯人 鎌倉 瑠晟 貞久 凌大 村田 祐申 山中 俊

【定時制通信制生活体験発表大会】

県内の定時制通信制高校の代表が、それぞれの意見や考えを発表する「定時制通信制生活体験発表大会」が10月に下関市で行われました。本校からは、4学年の原田琉衣さんが『いろいろな世界』というテーマで自分の考えを発表しました。

【ボランティア活動&マリニイカダレース】

ボランティア活動として、学校近辺の通学路の除草作業を行いました。また、マリニイカダレース大会は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となりました。

※「くだまつ笠戸島マリニイカダレース大会」は、今年度廃止が決定しました。

【進路状況】

今春の卒業生は6名。県内外の企業及び公務員に就職が決まりました。本校で培った知識と技能を生かし、今後大いに活躍してくれるものと期待しています。

県内	県外	公務員	自営	その他	卒業生
3名	1名	1名	0名	1名	6名

(R5.3.1現在)

【3学年と4学年が「チャレンジ目標達成!」】

令和4年度は、3学年と4学年が定時制のチャレンジ目標「クラス欠席0の日、100日」を達成しました。コロナ禍が続いている中、昼間・働き、夜・学ぶ。経験した人にしかわからない苦労があると思います。今年度は、全学年で達成しよう!下工定時制!!

(R5.5.1現在)

【在校生の状況】

令和5年度の生徒数は、22名（男子22名）です。落ち着いた雰囲気です学習活動や部活動に取り組んでいます。資格取得に向けてチャレンジするなど、それぞれが自己の目標に向かって、順調に学校生活を送っています。

1年	2年	3年	4年	計
4名	9名	4名	5名	22名

定時制教頭 大塚 寛史



運営基金御礼



下記の方々より、ご協力を頂きました。心より厚く御礼申し上げます。この基金は引続き募集いたしますので、何卒、ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和4年4月1日～令和5年3月31日

卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額
日 石	O B 支 部	3000	M35	橋本 暢公	1000	M45	浅原 俊朗	1000	C30	岡部 洋一	1000	C39	河村 正浩	5000	E38	藤本 健治	2000
富士高圧フレキシブルホース支部		100000	M35	丸山 和之	1000	M45	大段 宏	1000	C30	長弘 智之	2000	C40	井上 則男	1000	E39	大木 望	1000
M14	山本 尚布	1000	M35	村田 雄司	1000	M45	藤井 義雄	1000	C31	佐藤 静江	1000	C40	酒井 光正	1000	E41	岸村 敬士	1000
M17	三好 修治	1000	M36	上田 祐三	1000	M45	久胡 龍三	1000	C31	清木 元博	1000	C40	貝塚 義博	1000	E41	田中 一成	1000
M20	大谷巖太郎	2000	M36	小野本 進	1000	M45	藤井 和良	1000	C31	河村 敏雄	1000	C40	竹内 公昭	1000	E41	三浦 康明	2000
M20	益田弘三郎	3000	M36	三原 一彦	2000	M45	杉本 勝美	1000	C31	松永 正之	2000	C40	河野 寿夫	1000	E42	林 巧	1000
M21	嶋田 隆雄	1000	M36	吉岡 正則	3000	M45	松原 時雄	2000	C32	坂本 嗣昭	1000	C40	宮本 新二	2000	E42	笠井 幾夫	1000
M25	弘中 辰男	1000	M37	山形 捷児	1000	M46	難波 美嗣	1000	C32	小林 勝	1000	C40	小林 孝二	2000	E42	原田 寛文	1000
M25	藤井 敏之	2000	M37	田村光之進	1000	M46	森永 弘	1000	C32	川村 俊彦	1000	C40	中村 道夫	5000	E43	川村 満	1000
M26	岩本 郁二	1000	M37	久本 徳夫	1000	M47	徳吉 忠	1000	C32	山崎 礼子	1000	C41	網永 俊彦	1000	E43	兼清 博史	1000
M27	林 一成	1000	M37	濱崎 康幸	1000	M47	村中 一雄	2000	C33	藤井 敦	1000	C41	安沢 一夫	1000	E43	西方 栄治	1000
M28	河村 徳男	1000	M37	福田 忠義	2000	M48	相本 信正	1000	C33	河口 俊彦	1000	C41	小林 誠	1000	E44	磯部 典之	1000
M28	原田 道雄	1000	M37	広津 正嗣	3000	M48	徳原 英昭	1000	C33	高山 佳昌	1000	C41	金山 光康	2000	E44	戸倉 敏幸	1000
M28	内山 忠雄	1000	M37	塩谷 典生	5000	M48	中本 信秀	1000	C33	萬徳 晴男	1000	C41	金藤 哲夫	3000	E45	吉野 郁夫	1000
M28	武居 信幸	1000	M38	山本 秀明	1000	M48	弘中 賢一	1000	C33	小笠原長文	1000	C42	国居 則次	1000	E45	弘中 隆	1000
M28	野田 重延	2000	M38	山岡 弘幸	1000	M48	中村 久信	1000	C33	岩本 宏	1000	C42	国弘 成文	2000	E46	林 恵二	1000
M28	国重 保之	2000	M38	浜中 浩	1000	M49	空 正男	1000	C33	難波 伸次	2000	C43	山本 清二	2000	E46	福本 秀司	2000
M28	小川 荘六	3000	M38	石川 公明	1000	M50	高岡 敏	2000	C33	石川 達紘	10000	C44	石田 和久	1000	E46	松本 敏勝	2000
M29	水井 貴士	1000	M38	池永 文人	1000	M51	門川 光宏	2000	C34	大田 孝	1000	C44	池田 義孝	1000	E46	河本 滝美	5000
M29	渡辺 忠弘	1000	M38	宝島 勝興	1000	M52	中村 善義	1000	C34	山口 正治	1000	C44	藤村 秀行	1000	E47	松岡 清治	1000
M29	渡辺 圭二	1000	M38	筒井 征史	1000	M52	吉田 浩治	1000	C34	奥村フサ子	1000	C44	柿並 幹夫	1000	E47	清木 高治	1000
M29	松本 正	3000	M38	横田 晴雄	1000	M54	橋本 茂樹	1000	C34	小林 哲士	1000	C44	小田 洋子	1000	E47	市川 雅明	4000
M29	足立 元	5000	M38	弘中 勝利	1000	M54	矢野 茂興	1000	C34	藤田 圭子	1000	C44	山部 義弘	1000	E47	松村 和明	9000
M30	小林 信之	1000	M38	北中 武徳	2000	M54	磯村 活利	1000	C34	清木 崇	1000	C44	藤井 孝造	3000	E48	松野 文則	1000
M30	二町 健二	1000	M39	中原 康	1000	M54	中村 明夫	2000	C34	松本 勇	2000	C45	秋元 郁夫	1000	E49	佐々木 實	1000
M30	宮崎 一雄	1000	M39	杉原 公	1000	M56	河嶋 善樹	1000	C34	林 光恵	2000	C45	反田 快舟	1000	E49	沼田 明文	1000
M30	小林 克巳	1000	M39	道源 勝人	1000	M56	久野 茂雄	2000	C35	藤井 晴雄	1000	C45	浅本 修治	1000	E49	片野 洋志	1000
M30	原田 明	1000	M40	末廣 栄治	1000	M57	山近 和浩	1000	C35	内山 正行	1000	C45	深町 嘉晴	1000	E49	橋本 裕幸	1000
M30	中原 俊彦	1000	M40	久富 鐵夫	1000	M58	松森 泰洋	1000	C35	岡本 正輔	1000	C45	田村美知政	3000	E49	重永 裕祥	1000
M31	棚田 貴	1000	M40	芳岡 恒雄	1000	M58	小松 英二	1000	C35	宇智田俊一郎	1000	C45	清水 和夫	6000	E49	浅谷 吉人	1000
M31	相本 啓次	1000	M40	山本 勝一	2000	M59	棟居 伸広	1000	C35	国沢 洋二	1000	C46	水津 辰治	1000	E50	平尾 潔	1000
M31	高山 興昇	1000	M40	時繁 浩治	3000	M60	和泉 英征	1000	C35	岡 登志美	2000	C46	藤井 末男	1000	E50	高松裕一郎	1000
M32	村井 康訓	1000	M41	船本 秀幸	1000	M60	岩畑 宗保	1000	C36	山縣 峻	1000	C46	小林 範彦	1000	E52	永井 一弘	1000
M32	岡本 正啓	1000	M41	和田 栄治	1000	M63	辻 真登	1000	C36	宮田 治美	1000	C46	久野 隆弘	2000	E54	市川 満生	2000
M32	青木 健	1000	M41	山本 金生	1000	MH1	宇野 浩二	1000	C36	吉谷 勝美	1000	C46	石原 伸也	4000	E56	菅野 政志	1000
M32	鶴田 守	2000	M41	守田 達夫	1000	MH6	野崎 直治	1000	C36	守田 隆司	1000	C47	弘中 典男	1000	E56	石津 茂樹	1000
M32	堀田 知邦	2000	M41	金子 信良	1000	MH10	河元康太郎	1000	C36	濱谷 和昌	1000	C47	橋本 敏美	1000	E57	中道 章	1000
M32	林 通生	5000	M41	白井 春好	2000	MH20	森野 裕太	1000	C36	中野 末郎	1000	C47	杉本 郁夫	1000	EH1	恵本 修二	2000
M33	久芳 龍男	1000	M42	福田 朗	1000	MH21	河添 幸次	2000	C36	清木 義晴	1000	C48	河口 隆司	1000	EH2	上良 功司	1000
M33	広戸 一見	2000	M42	友員 純生	1000	MH4	明楽 宜興	1000	C36	復光 眞	1000	C48	岡田 忠実	1000	EH3	福田 稔	1000
M33	佐々木 正	2000	M42	重村 満男	1000	MH8	河元伸太郎	1000	C36	三保 卓也	1000	C48	伊内 耕治	1000	EH4	櫻井 慎二	1000
M33	吉村昌三郎	2000	M42	内田 一夫	1000	MR4	原田 佳翼	1000	C36	小川 光弘	1000	C49	清水 孝志	1000	IH25	井上 耕三	1000
M33	長迫 博	5000	M42	土谷 康夫	1000	C19	福田 満治	1000	C36	山根 晃憲	2000	C49	佃 美伸	1000	IH25	岩中 翔太	2000
M34	久保田浩文	1000	M42	井上 元洋	1000	C20	村田 芳夫	1000	C37	藤井 正人	1000	C49	井川 明美	2000	IH30	高橋 千花	1000
M34	松田 正己	1000	M42	田村 孝芳	1000	C21	林 茂夫	1000	C37	杉本 勝行	1000	C50	平尾 礼子	1000	SH30	松本 尋典	1000
M34	廣永 龍男	1000	M42	福島 操	1000	C26	藤谷 智志	1000	C37	神田 英昭	1000	C51	藤田 卓哉	1000	SR3	三原 謙一	1000
M34	林 亨	1000	M42	岡野 保雄	1000	C27	松村 寅彦	1000	C37	中村 忠士	9000	C51	板村 州展	1000	T42	伊村 渉	2000
M34	池本 幸一	1000	M42	長田 勝一	1000	C27	大木 正徳	2000	C38	村岡 教治	1000	C51	田坂 任	1000	T43	杉村 幸正	1000
M34	國廣 隆紀	1000	M42	沖原 俊春	1000	C27	友森 正信	2000	C38	青木 睦裕	1000	C52	原田 光久	1000	T43	渡辺 孝之	5000
M34	八木 武男	2000	M42	上野 安志	1000	C28	田丸 久	1000	C38	岡野 三治	1000	C60	秋本 昌彦	1000	T46	三戸 七郎	1000
M34	伊川 敏彦	2000	M42	柳原 正典	2000	C28	金子 剛男	3000	C38	久保証一郎	1000	CH13	河野 公彦	1000	T48	嶋 員久	2000
M34	西村 清	4000	M42	松本正次郎	2000	C29	清水 博晴	1000	C39	宝迫 和美	1000	CH6	片桐 正博	1000	T49	渡辺 義隆	1000
M35	中本 和彦	1000	M42	有永 房夫	2000	C29	原田 正夫	1000	C39	大田 六郎	1000	CR4	山中 大地	1000	P47	前国 幸	1000
M35	波多野 智	1000	M43	長久 利之	1000	C29	大谷 尚人	1000	C39	大浦 義明	1000	E38	伊藤 雄三	1000	P50	広石 隆司	1000
M35	原田 文利	1000	M43	中原 道雄	2000	C29	松村 立男	1000	C39	山本 邦雄	1000	E38	田中 昭夫	1000			
M35	三秋寿見郎	1000	M43	松村 伸	3000	C29	岩本 利彦	1000	C39	岡田 隆夫	1000	E38	田中 英征	1000			
M35	藤川 悟義	1000	M44	山根 岩夫	1000	C29	笠本 文計	1000	C39	小田 充	1000	E38	横山 正夫	1000			
M35	原 秀顯	1000	M44	惣田 勇	1000	C29	河村 正弘	1000	C39	笹木 正明	2000	E38	石川 勝行	1000			
M35	海野 征夫	1000	M44	高橋斗志雄	2000	C29	有吉 安治	2000	C39	藤本 光	4000	E38	小沢 学	2000			



100周年寄付御礼



下記の方々より、ご協力を頂きました。心より厚く御礼申し上げます。

令和4年4月1日～令和5年3月31日

卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額
M48	中本 信秀	3120	C38	青木 睦裕	2000	E49	重永 裕祥	30000

謹んでご冥福をお祈りいたします								
正会員物故者			一般社団法人 下松工業会 (令和4年4月1日～令和5年3月31日 事務局に連絡があった方のみ)					
卒 年	氏 名	住 所	卒 年	氏 名	住 所	卒 年	氏 名	住 所
M14	相本 一治	下松市	M30	河添 逸夫	下松市	C22	武居 隆一	下松市
M18	片山 英男	周南市	M31	白井 克明	下松市	C23	岩本 敏規	下松市
M19	藤井 誠一	周南市	M31	塩崎 紀正	下松市	C23	山本 正男	山口市
M19	山本 威彦	周南市	M32	和田 吉三郎	下松市	C27	山本 秋義	下松市
M19	吉木 生	平生町	M33	河口 敬孝	周南市	C28	築山 昌史	下松市
M20	下村 正行	杉並区	M35	田村 圭史郎	防府市	C28	佐藤 勝	周南市
M20	原 照雄	多摩市	M35	網本 正之	下松市	C29	石村 進	さいたま市
M20	田嶋 達也	防府市	M35	原野 達夫	松原市	C29	矢野 公春	摂津市
M20	野村 武	周南市	M36	山田 松幸	周防大島町	C30	佐藤 義明	横須賀市
M20	青木 昭	周南市	M37	林 純司	下松市	C32	原田 幸彦	下松市
M22	左海 孝之	下松市	M37	田中 新一	田布施町	C32	石田 英雄	枚方市
M23	藤原 肇	周南市	M40	清木 幹生	山口市	C35	久保 正己	下松市
M23	植杉 清	周南市	M41	江本 秀昭	光市	C36	時弘 孝彦	鳩山町
M23	河野 知敏	下松市	M43	村上 菊雄	下松市	C37	山本 成男	田布施町
M24	坂根 茂	宇部市	M44	棟末 保男	周南市	C38	清木 利彦	下松市
M25	長峯 芳夫	周南市	M45	嶋井 政博	下松市	C41	松永 賢正	坂祝町
M25	藤井 正	周南市	M49	松村 嘉浩	光市	C41	用伝 正之	柳井市
M25	正本 義幸	光市	M55	永松 昭二	下松市	C42	鈴木 厚馬	泉大津市
M25	沖本 洋始	下松市	C19	伊藤 進	山陽小野田市	E41	保田 修三	平生町
M26	東原 忠行	川崎市	C19	竹中 誠	玖珂町	E42	木村 敏明	岩国市
M26	高原 良夫	山口市	C19	矢田 部 稔	神戸市	E45	玉野 敏数	周南市
M26	片山 保則	周南市	C20	重田 正一	光市	E55	小田 巧二	下松市
M27	小田 勇美	下松市	C20	吉廣 孝一	田布施町	T49	多田 孝義	下松市
M27	中村 幸男	下松市	C20	山本 保	田布施町	P56	岩迫 和司	光市
M29	池田 義美	下松市	C20	藤本 幸夫	光市			



褒章・受賞おめでとう
ございます

地域環境保全功労者表彰(環境大臣賞)
黒田 義則 M34

令和5年度支部長就任

日立笠戸支部 MH3 國本 淳一




編集後記

新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザと同じ位置づけとなったことで、先が見通せない日常生活に一筋の光明となりました。

街ゆく人たちにコロナ以前の活気が戻ってきたように感じるのは私だけだろうか。

4年間に亘り活動に制約を強いられていましたが、企業支部、地域支部におかれては同窓会活動を再開し、同窓の絆をさらに高めていただきたいと思います。

広報HP委員会



事務局からのお知らせ

七彩会ボウリング大会

日 時 令和5年8月8日(火) 18:30～
会 場 下松ボウリングセンター
会 費 1,500円 (シューズ代自己負担)

第32回七彩会ゴルフ大会

日 時 令和5年10月11日(水)
会 場 中須ゴルフ倶楽部
スタート アウト・イン 8時33分 (20組)
参 加 費 3,000円
競技方法 ダブルベリア方式

令和6年度定時総会

日 時 令和6年5月11日(土) 10:00～
ところ 下松市大字西豊井1247番地
会 場 下松駅南市民交流センター
きらぼし館

100周年記念誌販売

3,000円/冊(送料別)

100周年記念写真集「友愛正義」を販売中です。


※各行事への参加・購入ご希望の方は工業会事務局まで連絡下さい。

勧誘・振込詐欺にご注意

母校・同窓会など名を借りた振込詐欺・新聞広告や資格取得の勧誘或いは名簿作成・と言って、母校・同窓会以外の不詳団体から郵便、電話があると聞いております。電話並びに、母校又は同窓会の署名(学校長又は会長名)のないものは一切受け付けしないで下さい。

QRコードからの
当会ホームページへ

URL:<http://www.kudakokai.org>



おわびと訂正

会報53号で支部長名に間違いがありましたので訂正します。
正しくは
日鉄ステンレス光支部 岡田 貴義
謹んでおわび申し上げます。